

筑豊フェア2016 筑豊の祭典で福智の魅力をPR

福岡県と筑豊地区15自治体による「筑豊フェア」が10月1日に福岡市の天神中央公園で開催されました。「おどりと食の祭典」をテーマに、筑豊ならではの演目やグルメが大集合。福智町からは名物「方城すいとん」の出展やマスコット「福天」もステージに登場し、上野焼絵付体験や図書館・歴史資料館の紹介で大いに町をPRしました。



↑ 当地グルメや特産品が並んだ田川地区エリアで「方城すいとん」が一番に完売。

↓ 熟練の手さばきによる「ユートピア37」が限定400食のソバを丹精込めて手打ち。



福智ソバの花フェスタ2016 風味豊かな福智産ソバに舌鼓

中原集会所(伊方)で10月9日、福智町友の会主催の「ソバの花フェスタ」が行われました。当日会場で手打ちする福智産ソバは、毎年楽しみという声も多く大人気。例年より倍増した新米300kgのすくい取りや地元特産品の直売やバザー、特設ステージでの演奏などが会場を盛り上げ、来場者約600人は秋の味覚を堪能しました。

梶原信子さんが県水泳競技で大会新記録 懸命な努力が実を結び16連覇

県民体育大会の水泳競技が8月21日に筑豊緑地プールで行われ、福智町から7人が出場、65～69歳の部の梶原信子さん(上野・65歳)が50mバタフライで優勝を果たしました。タイムは43秒17で本大会新記録を更新し、見事16年連続優勝の快挙を達成。「来年も自らの記録を塗り替えられるよう練習に励みます」と語りました。



↑ 得意のバタフライで大会新記録を樹立した梶原さん。自由形でも2位を獲得。

↓ 梨と歩行者用反射材をチラシとともに手渡す嶋野町長。福天もかけつけました。



セーフティステーション活動 街頭で交通安全を呼びかけ

秋の交通安全県民運動期間中の9月23日に、交通安全を呼びかける街頭キャンペーンが旧金田ふれあい朝市前で行われました。田川警察署、交通安全推進協議会、町職員など約15人が、通行中のドライバーに「交通事故なし」とかけて町の特産品・赤池梨を配布。200人へ直接呼びかけ、安全運転への意識を再確認してもらいました。

↓ 張り詰めた空気の福智町弓道場で、的を狙い一心に弓を引く選手たち。屋内競技場では遠的競技を実施。



第59回福岡県民体育大会秋季大会 県の弓道家一堂に福智で競技

7千684人が出場した福岡県民のスポーツの祭典「県民体育大会」の秋季大会が9月24日から2日間、筑豊と北九州の両地区で開催されました。県内有数の施設として、弓道種目会場に福智町弓道場(金田)が選ばれ91チーム451人の選手が来町。集中力を感じさせる緊迫した雰囲気の中、日頃の鍛錬の成果が競われ、福智町から出場した5人の選手も無心の一射を放っていました。秋季大会には福智町から7種目に27人が出場し、各競技で熱戦を展開しました。

10周年全国童謡まつりにベル・アルモニアが出演 河村光陽の名曲を全国の大舞台で披露

「全国童謡まつり」が9月24日に沖縄県うるま市で開催され、九州から唯一「ベル・アルモニア赤池」の7人が出演しました。主催者代表が福智に来町した際のつながりから5年越で実現。町出身の童謡作曲家・河村光陽の代表曲「かもめの水兵さん」や「うれしいひなまつり」など計5曲のメドレーを900人が注目する大舞台で披露しました。



↑ 「光陽の名曲を口ずさむ町へ」と気持ちを新たにしたベル・アルモニアのみなさん。

↓ 上野焼で飾られた熊本産の食材を使った料理をビュッフェ形式で味わう参加者。



「一皿ボランティア」で上野焼とジェラートPR 福智の特産品で熊本支援に協力

福岡の一流シェフ集団「博多ミラベル21」主催の熊本震災復興支援企画「一皿ボランティア」が9月18日に福岡市で開かれました。会場には上野焼に盛り付けられた料理が並び、一部はシェフがその場で調理。デザートで町の特産品「ふくち☆リッチジェラート」が並ぶと、あっという間になくなり、120人の参加者から好評を得ました。